



生きものの“つぶやき”:

「生きている」

エッセイ:

「これは俺のもんだ」

ちいさいからだで、まるで生まれて初めての狩りだったかのような驚いた表情をみせるトカゲ。その姿はまるで爬虫類の王になったような存在感。誰にもとらせないと言っているような鋭い目つき。

たくましい生を感じる。瞬間、ドキッとした。

この世は弱肉強食だ。弱いものが強いものに食われる。

そんな世界が動物上当たり前なのにもかかわらず、人間は別で弱くても生きていける環境にある。それなのに日々の感謝を忘れてしまうことがある。

安心してご飯を食べれる、安心して床につける。それが当たり前だと思って生活している。それは当たり前ではないことに感謝し、生きていかなければならない。

生きているということは命をいただいているということ。 (311字)

生きものの紹介:

ニホンカナヘビ

カナヘビ科カナヘビ属に分類されるトカゲの一種。

小さく恐竜のように見えることから小恐竜と呼ばれる。

昼行性。絶滅する恐れはない。

撮影場所・日時：

近所の畑 2024年8月25日

応募者の自己紹介：

1. 氏名：松本 悠希
2. 高校・学年：佐野日本大学高校・1年
3. 所属：弓道部

審査員からのコメント：

まさに決定的瞬間ですね。よく撮影できたな、と感心しました。
獲物を捕らえているカナヘビの姿をよくとらえています。